

## 「原水爆禁止2019年世界大会」激励メッセージ

世界平和と核兵器廃絶を訴え、「原水爆禁止2019年世界大会」に取り組まれている皆様に、心から敬意を表します。

74年前の8月、広島、長崎に投下された原子爆弾により、一瞬でまちが破壊され、多くの人々が命を落としました。

核不拡散条約発効50年の再検討会議を来年に控えた今、イランの核開発問題や、2017年の核兵器禁止条約の採択と、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のノーベル平和賞受賞など、非核平和を求める動きに世界の注目が集まっています。

富士宮市は、本年、「核兵器廃絶平和都市宣言」制定35周年を記念して、市内の公立中学校の代表生徒を広島市へと派遣し、未来を担う子どもたちに核兵器廃絶と平和の大切さを伝えます。

また、市内の各所に、平和へのメッセージを込めて造られた「核兵器廃絶平和都市宣言」の標柱を設置し、当市を訪れる人々に核兵器廃絶と世界の恒久平和を訴えています。

結びに、本日の大会が、世界の核兵器廃絶の実現へ向け、大きく寄与されますことを、心より祈念申し上げます。

令和元年7月12日

富士宮市長 須藤 秀忠